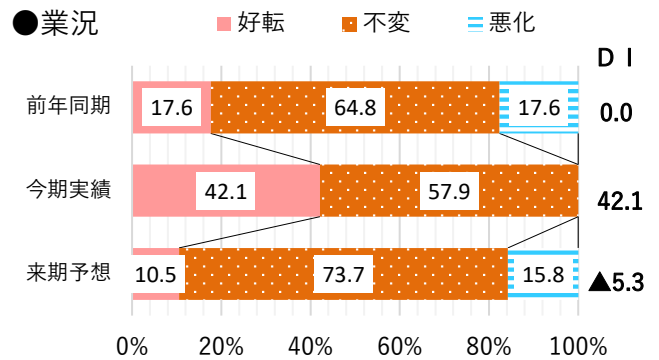


卸 売 業

業況、売上、採算

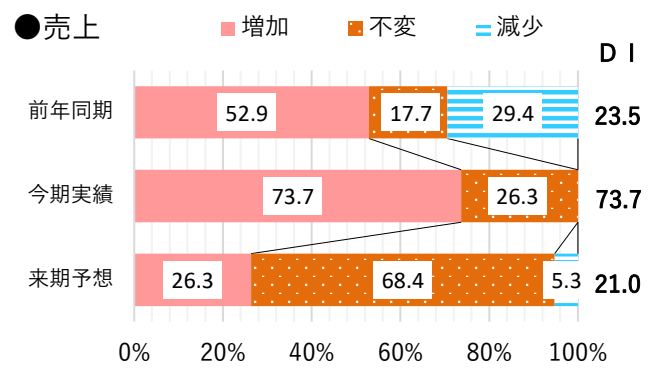
今期(2023.4~6)の業況判断DIは42.1で、前年同期(2022.4~6)と比べ42.1ポイントと大幅に上昇しました。

来期(2023.7~9)は、業況が大幅に悪化し、マイナスに転じると予想しています。



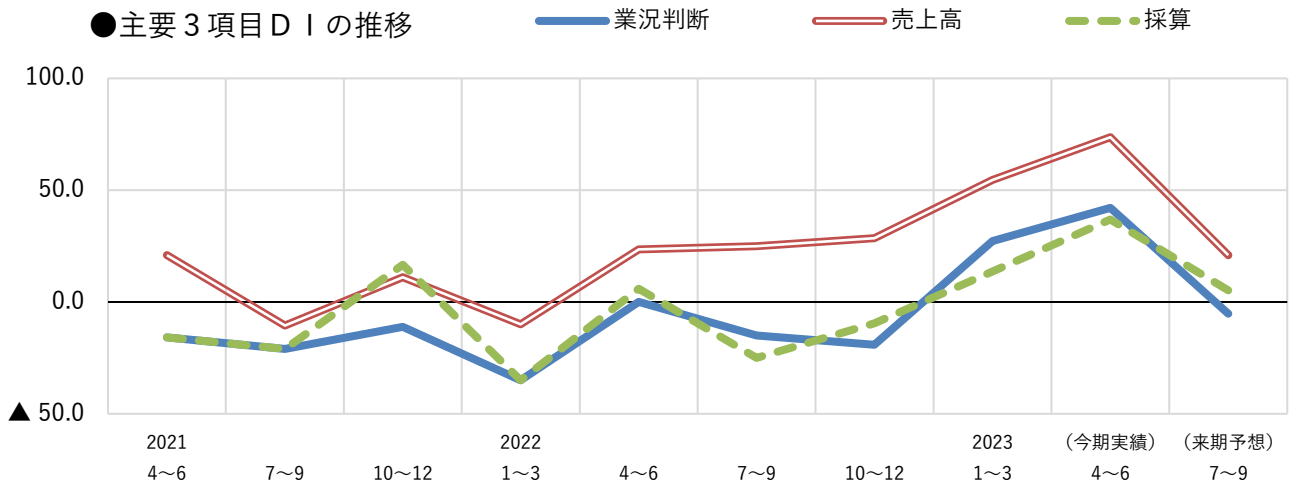
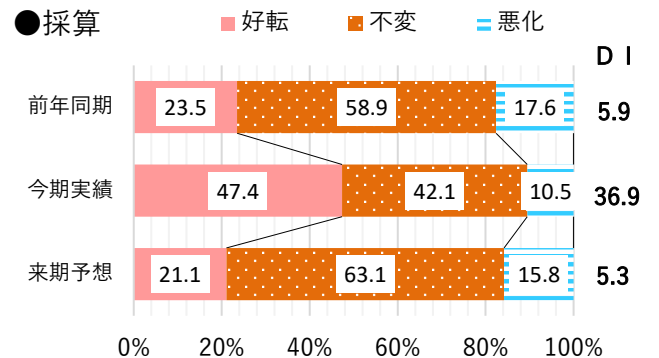
今期の売上DIは73.7で、前年同期と比べ50.2ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、売上の増加傾向が大幅に弱まると予想しています。



今期の採算DIは36.9で、前年同期と比べ31.0ポイントと大幅に上昇しました。

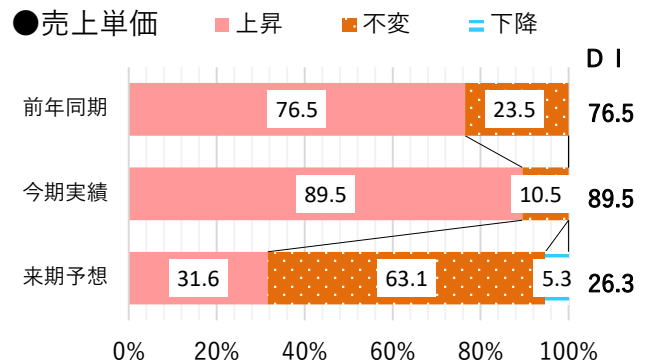
来期は、採算の好転傾向が大幅に弱まると予想しています。



売上単価、商品仕入単価

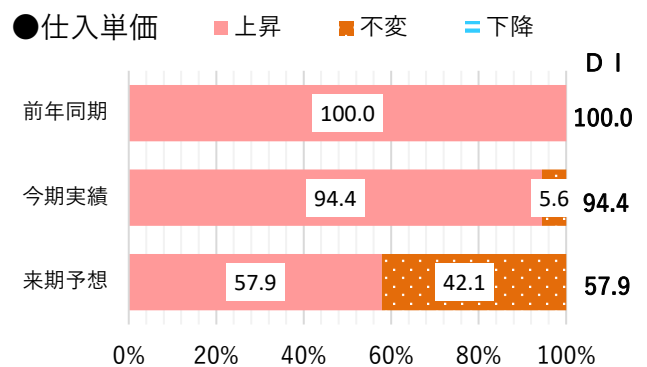
今期の売上単価DIは89.5で、前年同期と比べ13.0ポイント上昇しました。

来期は、売上単価の上昇傾向が大幅に弱まると予想しています。



今期の仕入単価DIは94.4で、前年同期と比べ5.6ポイント低下しました。

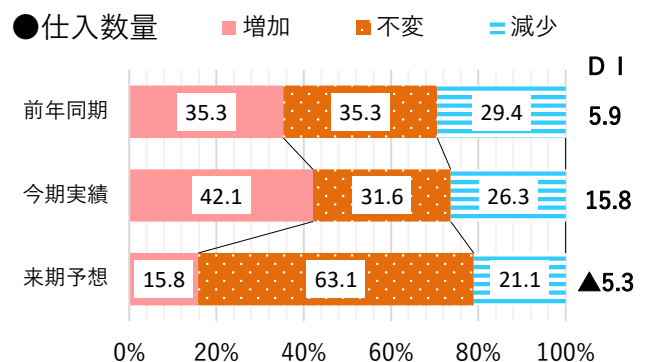
来期は、仕入単価の上昇傾向が続くと予想しています。



商品仕入数量、商品在庫数量

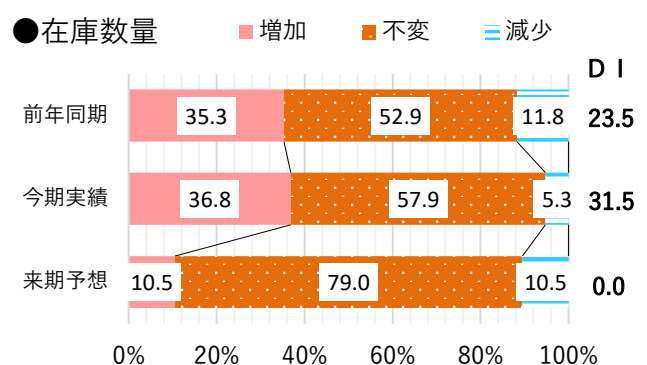
今期の仕入数量DIは15.8で、前年同期と比べ9.9ポイント上昇しました。

来期は、仕入数量が減少に転じると予想しています。



今期の在庫数量DIは31.5で、前年同期と比べ8.0ポイント上昇しました。

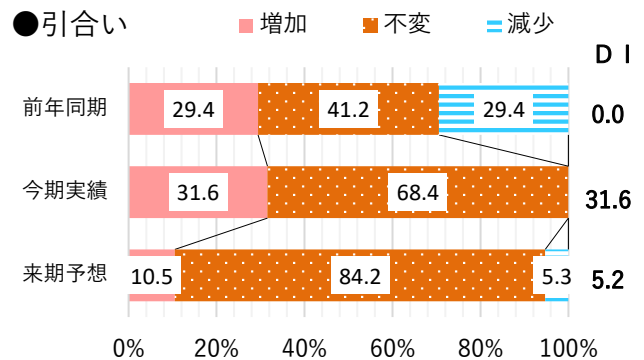
来期は、在庫数量の増加傾向が大幅に弱まると予想しています。



引合い

今期の引合いDIは31.6で、前年同期と比べ31.6ポイントと大幅に上昇しました。

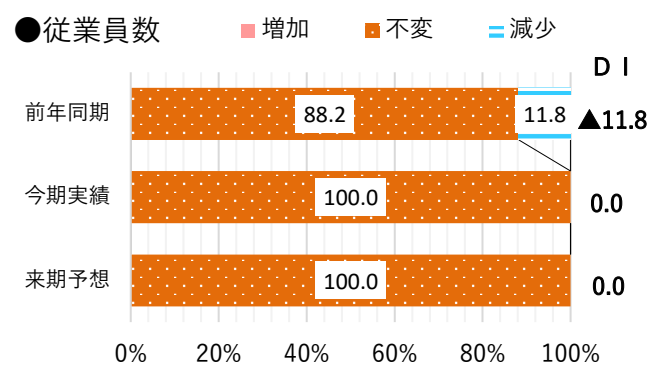
来期は、引合いの増加傾向が弱まると予想しています。



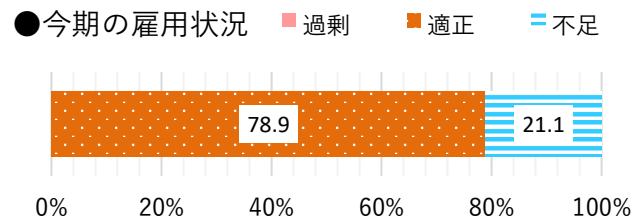
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは0.0で、前年同期と比べ11.8ポイント上昇しました。

来期は、従業員数の横ばいを予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は78.9%、不足していると回答した企業の割合は21.1%でした。



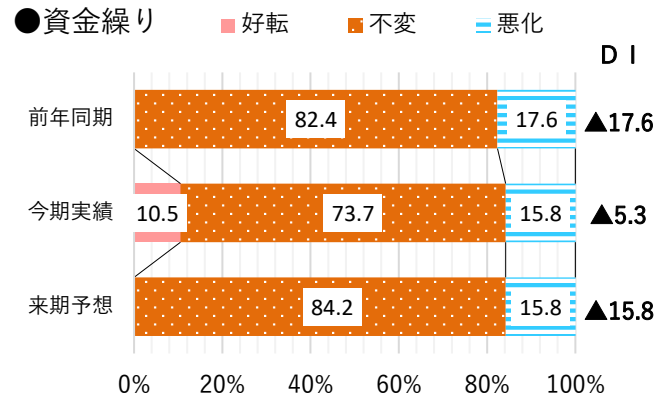
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の78.9%を占めており、不足と回答した企業は約2割でした。

従業員数変化	雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	0
不変だった	過剰	0
	適正	15
	不足	4
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	0

資金繰り、設備投資

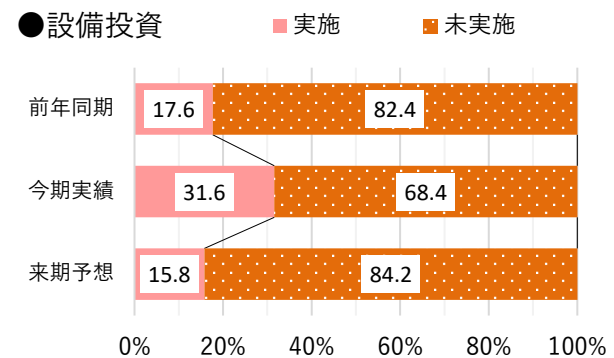
今期の資金繰りDIは▲5.3で、前年同期と比べ12.3ポイント上昇しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が続くと予想しています。



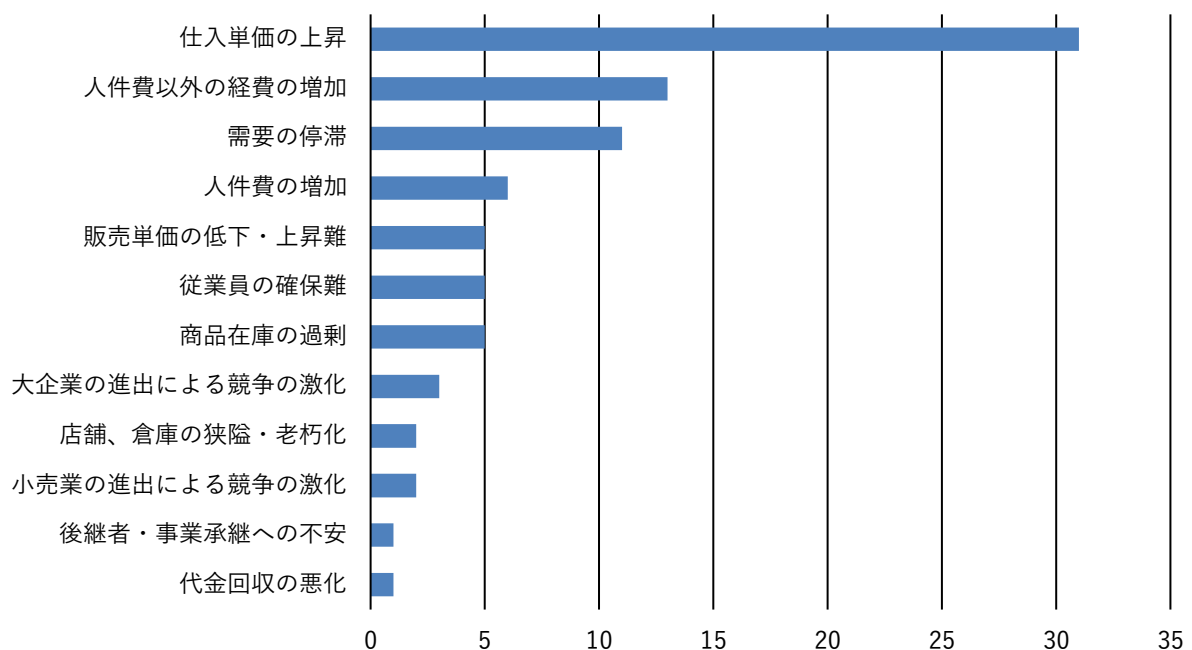
設備投資を実施した企業の割合は31.6%で、前年同期と比べ14.0%上昇しました。投資内容は1位が「土地」、「車両運搬具」（同位）、2位が「その他」でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は15.8%で、減少を予想しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「人件費以外の経費の増加」、3位が「需要の停滞」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- コロナ禍に伴う規制によって売上が低迷していた昨年同期と比べ好転した。（食料・飲料卸売）
- 大手部品メーカーの力が強まり困っている。（自動車部品）
- 売上が増加した。（事務用品）
- 販売量は減少したが販売価格を引き上げたため、売上は前年並みだった。粗利益は減少した。（鉱物・金属材料卸売）
- 雪解けが例年より早かったため、工事の始まりが早く、受注は悪くなかった。（建築材料）
- 仕入価格の上昇が業況に大きな影響を与えている。（石油卸売）
- 仕入が増えた分、売上が増えている。価格転嫁はそれなりにできている。（塗料販売）

[来期の業況について]

- 今後の新型コロナウイルスの状況に左右される。今期実績が、今後の業況を判断する一つの基準になると思われる。（食料・飲料卸売）
- 仕入単価の上昇を見込む。販売単価の引き上げは難しくなる。（食料・飲料卸売）
- 物価高と品不足が続く。ウクライナ侵攻の終結による経済の安定化を望む。（自動車部品）
- 今期に引き続き、売上の増加を見込む。（事務用品）
- 仕入価格が上昇すると販売量も減少するため、粗利益も減少する可能性が大きい。（鉱物・金属材料卸売）
- 今後の動きはあまり良くないという声が聞かれる。（建築材料）
- まだ仕入価格は上がると思われるので、価格転嫁できるかどうかが問題だ。（塗料販売）